

計量経済基礎

木曜 1時間目 (AM8:50 – 10:20)
法経講義棟 1番講義室

「対面 + オンライン」授業
オンライン状況を確認のため録画します。
ただし、公表することはありません。

事前知識

学部レベルの統計学は必要

授業科目では、学部の統計（今学期、水2・金3, 5番教室），
または、大学院の統計基礎（今学期、火5, メディア）

TAについて

王 馨（オウ ケイ，WANG XIN）さん： wx1184097947 [at] yahoo.com
TA セッションは行いません。
質問等は TA の王さんにお願いします。

目 次

第 1 章 はじめに	11
第 2 章 計量経済学とは？	13
2.1 需要関数の例	13
2.2 消費関数の例	18
2.3 生産関数の例	20
第 3 章 2 变数間の関係	25
3.1 準備： 和記号 Σ について	25
3.2 標本平均	28

3.3	標本分散	29
3.4	標本共分散	29
3.5	標本相関係数	30
3.6	行列について	32
第4章 回帰分析		47
4.1	準備	47
4.1.1	重要な公式	47
4.1.2	データについて	48
4.2	最小二乗法について：单回帰モデル	49
4.2.1	最小二乗法と回帰直線	49
4.2.2	切片 α と傾き β の求め方	50
4.2.3	残差 \hat{u}_i の性質について	60
4.2.4	決定係数 R^2 について	61
4.2.5	決定係数の比較	68
4.2.6	まとめ	69
4.3	最小二乗法について：重回帰モデル	71

4.3.1 重回帰モデルにおける回帰係数の意味	74
4.3.2 決定係数 R^2 と自由度修正済み決定係数 \bar{R}^2 について	78
第5章 統計学の基礎：復習	83
5.1 確率変数，確率分布について	83
5.2 期待値・分散・共分散の定義・定理	86
5.2.1 期待値の定義	86
5.2.2 期待値の定理	88
5.2.3 分散・共分散の定義・定理	89
5.3 正規分布について	93
5.4 統計値・統計量，推定値・推定量について	96
5.5 大数の法則と中心極限定理	98
5.5.1 大数の法則	98
5.5.2 中心極限定理	99
5.6 推定量の望ましい性質	100
5.6.1 不偏性	101
5.6.2 有効性(最小分散性)	101

5.6.3 一致性	103
5.7 χ^2 分布	105
5.8 t 分布	107
5.9 標本平均 \bar{X} の分布	109
5.10 区間推定(信頼区間)	111
5.11 仮説検定	113
第6章 統計学の回帰分析への応用	117
6.1 確率的モデル：单回帰モデル	117
6.2 回帰モデルの仮定	119
6.2.1 誤差項(攪乱項)の経済学的意味	121
6.3 $\hat{\alpha}, \hat{\beta}$ の統計的性質	122
6.3.1 $\hat{\beta}$ について	123
6.3.2 $\hat{\alpha}$ について	124
6.3.3 $\hat{\alpha}, \hat{\beta}$ の平均	124
6.3.4 誤差項(または、攪乱項) u_i の分散 σ^2 について	139
6.3.5 $\hat{\alpha}, \hat{\beta}$ の分布	147

6.3.6 α, β の区間推定(信頼区間)	151
6.3.7 α, β の仮説検定	155
6.4 確率的モデル：重回帰モデル	163
6.4.1 推定量の性質	163
第7章 ダミー変数	167
7.1 異常値ダミー	167
7.2 構造変化ダミー	171
7.3 季節ダミー	173
7.4 地域差ダミー	174
7.5 男女別ダミー	175
第8章 関数型について	177
第9章 雜多なこと	185
9.1 系列相関： <i>DW</i> について	185
9.1.1 <i>DW</i> について	185
9.1.2 最小二乗推定量の分散について	190

9.1.3 系列相関のもとで回帰式の推定	195
9.2 不均一分散(不等分散)	201
9.2.1 不均一分散(不等分散)の意味と推定方法	201
9.2.2 最小二乗推定量の分散について	203
9.3 多重共線性について	206
9.4 F 検定について	212
9.4.1 いくつかの例	212
9.4.2 統計学の復習	214
9.4.3 検定の方法	214
9.5 説明変数と誤差項に相関がある場合	218
9.6 応用例	219
9.6.1 マクロの消費関数	219
9.6.2 ミクロの消費関数(需要関数)	233
9.6.3 株価, 金利, 為替レート	249
第 10 章 推定量の求め方	255
10.0.1 最小二乗法	255

10.0.2 最尤法	257
10.0.3 尤度比検定	292
10.1 時系列分析と季節調整	306
10.1.1 季節変動	308
10.1.2 トレンド	310
10.1.3 循環変動	311
付表	317